

# 仙台自立の家後援会報

～ 第54号 ～

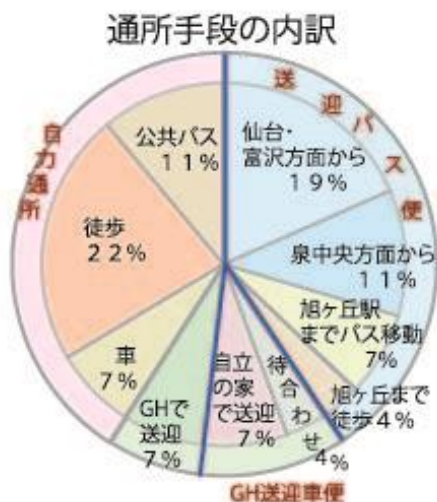
発行日:2024年12月1日  
発行責任者:仙台自立の家後援会  
会長 馬場 護

〒989-3206 仙台市青葉区吉成台2丁目12-24  
TEL 022(303)0260 FAX 022 (719) 4055  
ホームページ <https://www5e.biglobe.ne.jp/~sjiritu/>



## どうする？通所にかかる負担軽減策

仙台自立の家は仙台市西部の吉成山丘陵にあります。通所するために利用できる公共交通機関は少なく、このため利用できる利用者は限られています。これまでも「自宅まで送迎に来てほしい」といった要望が出ていますが、その対応に苦慮しています。利用者の通所にかかる実態は円グラフの通りです。



※：グラフにある「GH」はグループホームのことです

グラフからもわかるように、遠方から公共交通機関を乗り継ぎながら、時間をかけて通所している利用者が6割近くいます。そのため少しでも利用者の時間的、経済的負担を減らそうと地下鉄旭ヶ丘駅と施設の間へ送迎バスを運行しています。

しかし、中には送迎バスを利用するために遠回りをしたり、混雑する交通機関を避けるために途中時間調整をしながら通って来る方もいます。また、通所に家族の送迎が欠かせない方もいます。

施設では今後、利用者の多様な要望に応えるために、どのような方策をとれば、利用者の負担軽減が図られるか早急に検討して行こうと考えています。

## クリッパーRio 登場！

今年7月4日に、新しい軽自動車「日産クリッパーRio」が来ました。車いす対応で積載量多め、且つ4人乗れる車です。販売用に巻取り型日除けも搭載し利便性を高めました。

以前にあった軽自動車は20年使用し、昨年11月に動かなくなりました。それから8か月ものあいだ、とても不便な思いをしましたが、これで機動力アップ間違いなし（人手は足りていませんが）なのです！



## 2024年度 仙台自立の家感謝祭！

2024年10月5日（土）、仙台自立の家感謝祭を実施しました。

気がかりだった天候も小康状態となり、暑くもなく寒くもない絶好の日和となりました。

新型コロナウイルス感染症への警戒から、過去5年間、飲食物は販売できませんでしたが、今年は「ゴーヤー&ラフティー飯」「カレーライス」「フランクフルト」「玉こんにゃく」を販売し、いずれも大好評で早々に完売しました。

ゲストには琉球国祭り太鼓宮城支部の皆さんをお招きして、勇壮なエイサーと優雅な演舞をご披露いただきました。お客さんも参加してみんなで「カチャーシー（掻きまわ



し）」と呼ばれる手踊りをしたり、小太鼓を叩いたりと大いに盛り上がりました。参加頂いたお客さんから「見ていて涙が出た」と言われ、ゲストをお招きして本当によかったと思いました。

また宮城県麗人会赤十字奉仕団の皆さんには恒例のハンドマッサージコーナーをお願いしました。身体を擦ってもらう又は温めてもらうのは気持ちいいものです。多くの方がリラックス効果を求めて立ち寄り、癒しのひと時を過ごしていました。

## 東北肢体不自由児者父母の会連合会宮城大会に参加して

2024年9月28～29日、秋保温泉ホテルクレセントで開催されました。大会のテーマは「住み慣れた地域で、安全、安心して健やかに暮らすために」でした。

講演では巴雅人氏が「災害の教訓は実践して備える」と題し、東日本大震災におけるご自身や家族・知人の避難生活などをお話されました。災害時の基本は「自助」

「共助」「公助」と言われていますが、東日本大震災では「共助」のあり方について強く考えさせられたとのこと。さらに親類近隣町内会から始まり友人、ボランティアからの支援があり、日頃のコミュニケーションの大事さを感じたとのこと。

懇親会ではポーリー氏家さんによる手品や、カラオケ、ダンスなどもあり、青森、秋田、岩手の会員と交流して親睦をはかりました。





## 朝の体操 ～効果と課題～

仙台自立の家では毎日、朝礼時に体操を行っております。体操によって体調と気分を整え、不意の怪我や事故を防止できれぱと考えて毎日続けています。そのため体操はストレッチ運動が中心です。腕を大きく回すことで胸を広げて深呼吸を促し、肩回りの関節を動かすことで転倒したとき咄嗟に手が出る身体づくりを目指しています。「その場足踏み」では膝を持ち上げること

で腸腰筋<sup>ちようようきん</sup>を刺激し、体幹をしっかりとさせる効果も期待できます。

車いすの人、片マヒの人もありますが、みなさん出来る限り体中の関節を動かして頑張っています。体を支えきれない人にはテーブルにつかまる、椅子に座るなどを勧めています。見ているだけで体を動かさない人もいますが、声がけすると少しずつ手足を動かすようになります。身体を動かす習慣をつけてもらえるようにこれからも毎朝続けていきます。

## 18th ナイスハートバザール+ノウクマルシェ in 仙台駅



去る10月15日(火)～17日(木)、第18回ナイスハートバザール+ノウクマルシェ in 仙台駅が行われました。仙台自立の家も手工芸品と水耕栽培野菜を出品しました。お陰様で多くの売上げがありました。仙台駅中央改札口まで応援に来て下さった方、どうもありがとうございました。

## 仙台自立の家と実習生

仙台自立の家には多くの学生が実習に見えます。目的は、社会福祉士、精神保健福祉士、教員免許の取得、職場体験など様々です。福祉施設で実習することで、学生は様々な勉強をしていきます。障害がある方と触れ合うことで、将来自分が携わりたい仕事ははっきりと自覚できるようになっていくようです。実際に体験することは何物にも代えがたい貴重な財産になります。

また、仙台自立の家に通所している利用者にとっても、学生に教えるという体験は、とても有意義なものになります。受け身が多い利用者であっても、自分が学生に教えることでたくさんのことを学んでいます。「教えるって大変だね」「職員はいつもこんな思いしているんだね」などと利用者は話してくれます。こんな話ができるのも、実習生を受け入れているからで、とても良い経験をさせていただいています。





## ＜はあとふるギフトコレクションズ2024・冬＞

今年もクリスマスギフト・お歳暮の季節がやってきました！  
「2024・春」では、おかげさまで56,200円の売り上げがありました。あらためて御礼申し上げます。同封いたしましたチラシからご注文頂けるとうれしいです（インターネットで閲覧の方は仙台自立の家ホームページをご覧ください）。

### 令和6年度仙台自立の家後援会総会と役員改選

令和6年度の仙台自立の家後援会総会を5月11日(土)、仙台自立の家にて開催しました。参加者は18名で、自己紹介に続き、活動の報告と計画、決算、予算に関する審議と自立の家、後援会の現状、課題等について意見交換を行いました。また開所25周年記念で後援会から寄贈したランタンが紹介されました。

今回役員改選を行い、右図の方々が令和6-7年の役員に選任されました。下線の3名の方が新任（野家さんは庶務から移動）となります。よろしくお願ひします。

今回退任される山口弘子さん(会計)、佐藤一望さん(監事)、長い間ご協力いただき、誠に有難うございました。

#### 令和6・7年度仙台自立の家後援会役員

参与	松田 廣勝	尾暮 耕司
顧問	渡部 馥	
会長	馬場 護	
副会長	菅原 貞子	
会計	及川 弘子	<u>桑原 真紀</u>
庶務	今野 得子	<u>佐藤 智子</u>
監事	星 研良	<u>野家志津子</u>

### 訃 報

仙台自立の家の初代施設長で、当後援会の役員もお勤め頂いた齋藤佑様には、療養中のところ、2023年8月31日逝去されました(享年

93歳)。齋藤様の自立の家と後援会及び福祉事業への多大な貢献に厚く感謝申し上げます、ご冥福をお祈り申し上げます。

### 会費納入のお願い

後援会員の皆様には、会費納入にご協力頂き、誠に有難うございます。会費は3,000円以上任意となっております。会費は利用者への昼食提供と期末工賃補助、会報の発行など

に使わせて頂いております。

10月末段階でまだ納入を頂いていない方に振込取扱表を同封致しますのでご協力よろしくお願ひ申し上げます。

### 編集後記

多額の資金を投入すれば売れる商品を大量に作ることはできるが、福祉施設の場合は資金が乏しく、売れる製品づくりに携わる人手も限られている。しかし、福祉施設には「少量多品種」の製品が作れるという強みがある。毎年仙台駅で開かれているナイスハートバザール in 仙台駅に自立の家では1枚1000

円の円座を出品したところ大好評で、全て売り尽くした。この円座は、少数の利用者が、それぞれ持てる技能を発揮して製品化したそうである。

利用者の能力、特性にかなった生産活動こそが福祉施設の生き残る道と言えそうだ。